

2023.08

工
藝

No. 31

事務局（地独）京都市産業技術研究所 知恵産業融合センター（担当：松原 竹浪）

kyotonokogei@tc-kyoto.or.jp

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町 91

Tel 075-326-6100（代表） Fax 075-326-6200（事務局）

京都工芸研究会便り

1. 令和5年度 総会を開催しました

去る7月14日に、令和5年度京都工芸研究会総会をフォーチュンガーデン京都にて開催いたしました。24名の会員様にご参加いただき、全ての議案が承認され、盛会のうちに終了しました。

講演会では、京都ギフトショーの主催企業である株式会社ビジネスガイドから今井珠加様にご登壇いただき、京都ギフトショーの傾向や効果的な展示方法についてお話を頂戴し、新製品開発事業にも役立つ情報を得られました。



大塚委員長ご退任・松田新委員長ご就任

令和5年度の総会にて、役員の変更を行いました。4期8年にわたり委員長を担っていただいた大塚正洋様をご退任され、松田聖様が新委員長にご就任されました。大塚様、長きに渡りありがとうございました。松田様、これからもどうぞよろしくお祈りいたします。

大塚 正洋 前委員長



平成27年3月、京都竹工芸研究会（昭和34年設立）・京都金属工芸研究会（昭和34年設立）・京都工芸研究会（昭和23年設立）という各々長い歴史を持つ3研究会を統合し、新生京都工芸研究会を設立。初代委員長に就任いたしました。

歴史を引き継ぎ会員の交流を目指した「京都の工芸・逸品」展を開催。交流事業を開始し、様々な事業を（地独）京都市産業技術研究所事務局のご協力のもとに運営してまいりましたが、令和5年7月の総会を持ちまして京都工芸研究会委員長を退任することとなりました。

8年間にわたる思い出いっぱいの活動には、関係各位の多大なご協力をいただきまして務めることができましたこと厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

「こうげい組体操」など楽しい事業も企画されています。京都工芸研究会松田委員長のもと、さらなる発展を祈念いたします。

「こうげい組体操」など楽しい事業も企画されています。京都工芸研究会松田委員長のもと、さらなる発展を祈念いたします。

松田 聖 新委員長



このたびは大塚前委員長の後任として、委員長に就任させて頂きました松田聖です。京都工芸研究会の統合により、大塚前委員長のもと8年間副委員長を務めさせて頂きましたが、委員長の存在の大きさを感じております。

コロナ禍も終息したのか…それなりに社会活動も少しずつ以前のように動き始めております。微力ではございますが、西村副委員長・藤岡新副委員長をはじめ、新しく委員になって頂いた皆様・産技研の皆様のお力を借りて、研究会活動を進めて参りたいと思います。今年度は、昨年度より事業企画チームが企画されている「こうげい組体操」をはじめ、見学会等とも企画されておりますので皆様の積極的な研究会活動のご参加をお待ちしております。

令和5年度委員（五十音順、敬称略）

委員長	松田 聖（鋳屋（有）松田）	
副委員長	西村彦兵衛（（株）象彦）	藤岡 春樹（（株）藤岡光影堂）
委員	加藤 良紀（（株）アトリエ YOU）	京谷 美香（（有）晋六）
	小泉 裕司（（有）和銅寛）	中川 裕章（竹又中川竹材店）
	中嶋 優子（（株）中嶋象嵌）	長谷川忠夫（（株）長谷川松寿堂）
	細川 秀章（竹工房 喜節）	山田 博隆（（株）芸艸堂）
	山中源兵衛（清課堂）	
会計監事	大塚 正洋（東洋竹工（株））	小野 真嗣（象嵌屋 小野）

2. コラボ製品開発事業「こうげい組体操」順調です！

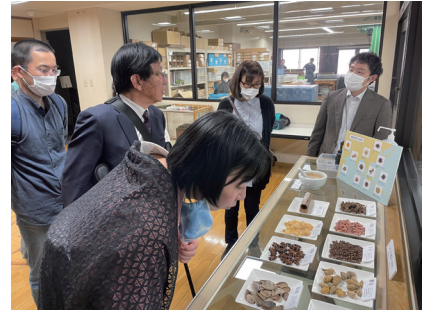
異業種コラボ製品開発事業「こうげい組体操」が着々と進んでおります。LINE グループでコミュニケーションを取りながら会議を重ね、様々なコラボが生まれつつあります。来年のギフトショーに向け、あと7ヶ月、活発な活動を進めてまいります！



キックオフ



第1回全体会議



松栄堂様工房見学会



仁科旗金具様工房見学会



コラボグループミーティング



第2回全体会議・懇親会

こうげい組体操とは

概要 工芸研究会の異業種が、技術や素材などのコラボレーションで新商品を開発する事業。

ねらい 異業種交流を活性化させてお互いの理解を深め、ものづくりの可能性を広げる。

現在までのあゆみ

3月6日	キックオフミーティング
3月9日	京都ギフトショー現地視察
4月11日	第1回全体会議・懇親会
5月23日	工房見学会（松栄堂様）
6月7日	工房見学会（仁科旗金具様）
7月27日	第2回全体会議・懇親会

3. 浅野昭夫様「黄綬褒章」を授章

3つの研究会が統合し、今の京都工芸研究会を設立して以来、会計監事を永年に渡って務めていただいた浅野昭夫氏が、令和5年4月29日に黄綬褒章を授与されました。

授与された賞状の中央には「大日本国璽」と捺印されています。この国璽は、浅野氏の師匠筋に当たる秦蔵六氏へ1873年（明治6年）2月に宮内省から鑄造の依頼があり、1年がかりで製作された3.5キログラムの金印になります。以降、今日に至るまで改刻されることもなく、使われ続けている国璽が捺印された黄綬褒章を150年の時を経て浅野氏が天皇陛下より授与されたことは、日本国が職人を讃えてきた永い歴史のつながりを感じます。



事務局より

◆2023年8月～の主な予定

10月ごろ こうげい組体操 第3回全体会議

11月ごろ 第2回委員会